

学部間協定留学 留学報告書

記入日：2019年1月8日

基本情報	
所属学部・学科	経営学部 経営学科
性別	<input checked="" type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性
留学先国	スペイン
留学期間	2018年 9月～ 2018年 12月
留学時の学年	4年生（渡航した時の学年）
帰国年月日	2019年 1月 1日
明治大学卒業予定時期	2020年 3月
留学先大学について	
大学名（英文・和文）	英文：IE University 和文：IE 大学
所属学部またはコース名	BBA
キャンパスの所在地	マドリード
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦（Academic Year）	春学期： 1月～ 5月（期末試験期間： ） 秋学期： 9月～ 12月（期末試験期間： ）
所属学部の学生数	1,500人
留学生の割合	60%

留学にかかった費用			
項目	現地通貨（）	円	備考
授業料		円	<input checked="" type="checkbox"/> 交換留学のため、留学先への授業料免除
宿舍費	€3,560	462,800円	一ヶ月：€890（3食含む）
食費	€800	104,000円	宿泊費に食費は含まれているので、この金額はあくまで個人的に別途使った食費
通学費	€80	10,400円	一ヶ月：€20（マドリード市内の電車、バス乗り放題。発行に1週間かかるので到着後すぐに申請するべき）
学校用品	€90	11,700円	教科書2冊分（教科書の購入は必須ではなく図書館でも借りられる。現地学生に頼めば無料の教科書データを送ってくれることもある）
教養・娯楽費		円	
被服費	€300	39,000円	現地で洋服等を購入しない限り必要のない支出。マドリードの9月が予想以上に暑かったため、現地で夏服等を購入した
医療費		円	
保険費		63,610円	保険会社：東京海上日動
渡航費		210,312円	往路148,462円（カタール航空） 復路61,850円（トルコ航空）
旅行費		250,000円	留学中に旅した国：スペイン国内、イギリス、フランス、スイス
語学学校		円	授業料： 宿泊費：

奨学金/助成金		420,000 円	奨学金 : 320,000 助成金 : 100,000
その他		円	
合計		731,822 円	

渡航について

1) 航空券を購入した時期	
<input type="checkbox"/> 留学先へ出願後 <input type="checkbox"/> 入学許可書受領後 <input checked="" type="checkbox"/> ビザ取得後 <input type="checkbox"/> 出発直前 <input type="checkbox"/> その他 ()	
2) どのように購入しましたか?	
Skyscanner と Expedia	
3) 渡航経路を教えてください。	
(往路) 成田空港 - ドーハ空港 (経由) - バラハス空港 (18h45) (復路) バラハス空港 - イスタンブール空港 (経由) - 成田空港 (15h22)	
4) 航空券代金	
利用航空会社 : 往路 : カタール航空 (148,462 円) 復路 : トルコ航空 (61,850 円) 合計 : 210,312 円	
5) 渡航に関するアドバイスがあればご記入ください。	
ビザが下りないと正式な入国日が決まらず航空券を購入することができないので、できるだけ早めにビザの申請を行うことを推奨します、ただスペインビザの場合入国希望日から3ヶ月以内にならないと申請できないので注意。基本的にマドリードまでの直行便はスペインのイベリア航空のみで、本数はあまり多くない。調べたところフィンランドのフィン航空が最もヨーロッパに着くのが早いらしい。	

留学中の滞在先について

1) 種類 (留学中の滞在先)	
<input type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 ()	
2) 部屋の形態	
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋 (同居人数 :)	
3) 住居の探し方	
<input checked="" type="checkbox"/> 留学先機関が斡旋 <input type="checkbox"/> 自分で探す	
4) 大学までの利用交通機関と通学時間 (片道)	
利用交通機関	<input type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> 電車 <input type="checkbox"/> 自転車 <input checked="" type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> その他 ()
通学時間 (片道)	電車だと 15 分、徒歩だと 25 分
5) 滞在中の食事について	
【平日】ホストファミリー 朝 : <input type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 外食 <input checked="" type="checkbox"/> その他 () 昼 : <input type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 外食 <input checked="" type="checkbox"/> その他 () 晩 : <input type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 外食 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()	【休日】ホストファミリー 朝 : <input type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 外食 <input checked="" type="checkbox"/> その他 () 昼 : <input type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 外食 <input checked="" type="checkbox"/> その他 () 晩 : <input type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 外食 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()
6) 滞在先に関する総合的な感想 (これから留学する人のためのアドバイス)	

IE 大学から、学生寮をいくつか紹介されたが、なかには半期（4 か月）の滞在を受け付けない場所もあり難航した。さらに学生寮の申請に遅れたため、どこも満員になってしまい、結果的にホームステイを選択した。マドリードの学生寮は非常に値段が高く、高いところだと月 20 万、他は平均月 12～14 万円ほど。さらに食事をつける場合別途支払う必要があるところもあるため費用がかさむ場合もある。アパートを何人かでシェアする場合は月約 5、6 万円ほどだと友達から聞いた。ホームステイの場合 3 食付きで月 11 万円ほどなので、値段だけ見ると良心的。ホームステイ先を探す際に斡旋企業には英語の話せるホストファミリーを探してもらい、いくつか候補先を提示されたあと決めた。ホームステイはあたりはずれがあるが、今までの経験上小さな子供がいる家庭は高確率で良い家族の場合が多い。

現地に関する情報

1) 留学中は病院にかかりましたか？

はい（利用機関名： ） いいえ

2) 大学内の医務室や診療所で医療サービスは受けられますか？

はい いいえ わからない

3) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか？

ホストファミリー、友達、大学の職員

4) 留学先大学に相談窓口はありましたか？

はい いいえ わからない

5) 現地の危険地域に関する情報はどのように収集し、どう防犯対策をしましたか？

情報収集	<input type="checkbox"/> 現地コーディネーター <input type="checkbox"/> 友人 <input type="checkbox"/> ネット（参考サイト： ） <input type="checkbox"/> その他（ ）
防犯対策	

6) 実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれましたか？

はい いいえ

7) 6で「はい」と答えた方：その際どのように対処しましたか？

警察、日本大使館、大学の職員に相談

8) パソコン、携帯電話、インターネットについて、現地での利用状況はいかがでしたか？

パソコン	大学内では問題なく Wi-Fi を使用することができる
インターネット	大学内では問題なく Wi-Fi を使用することができる
携帯電話	事前に日本で留学用に携帯を 1 台購入し、現地ではヨーロッパで使える SIM カードを購入した。Orange という携帯会社の SIM カードを月々€20 で購入した。

9) 現地での資金調達はどのように行いましたか？ お勧めの方法があれば紹介して下さい。

4 ヶ月間の滞在だったので現地では銀行を開設せず、基本的にクレジットカードを使用した。ホームステイにかかる費用は毎月支払う必要があったため、日本から親に相手の口座に送金してもらった。事前にインターネットバンキングで口座を作れば、通常よりも手数料がかからずに済む。通常の銀行口座から送金すると一回当たり約 70,000 円かかるが、インターネットバンキングの口座からなら約 3,000 円の手数料で済む。IE 大学と提携している銀行で口座を開設することはできるが、基本的に送金でしか口座にお金を入金することができないため、日本で事前にインターネットバンキングの口座を作ることを推奨（三菱 UFJ 銀行）。もしくはクレジットにキャッシング機能をつけ、現地の ATM で現金を下ろすこともできる。現地で日本円をユーロに替える場合、マドリード市内の換金所では手数料等をかなり取られたので、可能であれば日本で替えてきたほうがいいと思う。基本的にスペインではほとんどの場所でカードが使える。

10) 日本から持参すべき物があればご記入ください。

自炊をするつもりであれば、できるだけ調味料や食材を日本から持って来ることを推奨。現地の AsianSupermarket で醤油等は手に入るが、基本的に中華用の食材や調味料ばかりなので、めんつゆ、みりん、和風だしなどは現地では手には入らない。マドリードの9月はとても暑く、12月は冷え込むので4か月といえども、夏服、秋服、冬服とたくさんの洋服を日本から持っていく必要があり大変だった。とはいえ、現地で ZARA や日本のしまむらのような Primark など安く洋服を手に入れることができるので、現地で大半を調達するのも一つの手段だと思う。日本から荷物を段ボール1箱送ったが、現地で追加料金を€50 取られたため、結果2万円ほどかかったので、おすすめはしない。現地でお米は手に入るの、アジアからの留学生の中には炊飯器を持ってきている学生もいた。基本的には Amazon やデパート等で必要な電化製品も手に入る。留学中にヨーロッパ内を旅行しようと思っているのであれば、国によってコンセントの形が違うので、日本で全てのコンセントに対応したプラグを持参すると便利。特にイギリスのコンセントはスペインとは異なる。最近のものは変圧機がついているものもある。マドリードには割高ではあるが、無印もあるので文房具やノートなども現地で基本的に手に入るの、日本から持っていく必要はないと思う。

進路について

1) 進路

就職 進学 未定 その他 ()

2) 進路選択はいつ・どのようにされましたか？

3) 就職を選択した方は、内定時期とその企業を選んだ理由を教えてください。

内定時期	
企業名	(差支えなければご記入ください)
業界	
その企業或いは業界を選んだ理由	

4) 就職活動について、留学希望者へ向けたアドバイスをお願いします。

5) 進学を選択した方は、進学先が決定した時期とそこに決めた理由を教えてください。

進学先決定時期	
進学先	(差支えなければご記入ください)
その進学先を選んだ理由	

6) 進学について、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします (試験対策など)。

7) その他を選択した方は、今回の留学経験がご自身の進路選択にどのような影響を与えたかご記入ください。

もともと卒業年度を1年遅らせる形で4年生次に留学したため、これから就職活動を行う。留学を経て、行きたい業界がある程度定まった。

ご自身の英語力向上に効果があった勉強方法	明治大学に留学している海外からの留学生と交流を行い、日頃から英語を意識して使うことを心がけました。
総合的なアドバイス	語学留学と違い、学部留学では高いレベルの英語力特にスピーキングやリスニング、経営学の知識、ディスカッション能力が求められるので、日本にうちに積極的に英語話す機会を作り、自分が履修しようと思っている科目の予備知識を日本である程度インプットする必要があると思います。
この留学先を選んだ理由を教えてください。	
IE 大学は、MBA で世界的に有名な IE ビジネススクールを母体としており、授業の質や教授のレベルが高いと聞いていたので、スペインの IE 大学を選びました。実際ほとんどの先生が企業に勤めながら、大学で教鞭をとっているのも、より実践的な知識を学ぶだけではなく、様々な経験談を聞くことができました。	
大学（キャンパス）と学生の雰囲気をお教えてください。	
大学（キャンパス）	キャンパスはセゴビアとマドリードにそれぞれあり、私は3、4年生が在籍するマドリードキャンパスを選択しました。キャンパスは明治大学駿河台キャンパスより狭く、図書館やカフェテリアもとても小規模でした。毎日勉強する場所を探すのに苦労しました。
学生	幼少期を海外で過ごしたいいわゆる帰国子女や、ヨーロッパ各国からの留学生が非常に多く、英語のレベルはとて高かったです。特にマドリードキャンパスは3、4年生用のキャンパスなので、多くの学生が1、2年生のときに経営学をしっかりと勉強しているので、ディスカッションの質もとても高かったです。
現地での交友関係について教えてください。	
正規学生との交流	基本的に正規学生と一緒に授業を履修しますが、留学生と正規学生の交流はあまりなかったです。僕だけではなく、他の留学生も同じようなことを言っていたので、セゴビアキャンパスと比べるとマドリードキャンパスでは、留学生と正規学生と交流はあまり多くないと思います。正規学生はそれぞれホームルームクラスのようなものがあり、そのクラス単位で授業を履修しています。授業には必修科目と、自由履修科目がありますが、基本的に例年多くの留学生が自由履修科目を好んで履修するらしく、僕の履修していた必修科目2科目ではクラスに留学生が3、4人ほどしかいませんでした。一つの科目に対していくつかグループがあり、留学生はそのグループを自由に履修できますが、グループによってはスペイン人だけのクラスもあり、そういったクラスは他のグループに比べると英語が苦手な学生が多い印象でした。
留学生との交流	留学生だけで履修する科目はありませんが、留学生があつまるイベントなどもあり、交流は正規学生と比べると多かったです。
留学先大学主催のイベントについて教えてください。	
僕は参加しませんが、IE 大学の正規学生のための留学フェアがあり、留学生が自国、自分の出身大学のPR活動を行うイベントがありました。	
課外活動について教えてください。	
一日の課題の量を教えてください。	
9、10月はほとんど課題がありませんでしたが、11月以降グループワークが多くあり、時間管理がとても大変でした。基本的に毎回の宿題というよりは、月に何回かケーススタディが行われるため、事前にケースを読むという課題が多かったです。僕の履修していた科目ではレポートもグループ共同で行うため、個人の課題よりもグループで行う課題の方が多かったです。	
期末試験について教えてください。	

履修する科目にもよりますが、僕の履修した科目の期末試験は基本的に選択式の問題と、記述式の問題が出題されました。基本的に授業内容を復習すれば解ける問題ばかりなので、難易度はそこまで高くないと思います。期末試験と同じくらいグループワークの配点が高いので、どちらかというとも期末試験よりもグループプロジェクトの方が大変でした。

留学先で直面した困難（壁）について教えてください。

特にはないですが、街中で英語があまり使えなかったことが少し大変でした。運悪くお金を盗まれてしまったのですが、その際に多くの警察署で英語を話せる警察官がおらず、時には電話越しに通訳を通しながら事情を説明しなければいけなく学校外での言語の壁は非常に高かったです。

これから「留学」を考えている人へメッセージをお願いします。

留学前にどれだけ日本で準備するかで、留学先での大変さが変わってくると思うので、出発ぎりぎりまでしっかり準備して、留学中は思い切り楽しんでください。日本の学生の中には英語圏の学校しか考えてない人が多いですが、個人的には非英語圏の方が授業で発言できる機会も多いですし、いろいろなアクセントや文化に触れることができると思うので、ヨーロッパの大学も候補に入れてみるとまた選択肢が広がると思います。

留学先で履修した授業科目

記入日： 2019年 1月 8日

学習レポート（留学先で履修した科目ごとに記入してください）	
1) 留学先で取得した単位数	本学で認定された単位数
12 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 現在単位認定中（認定予定の単位数： ） <input checked="" type="checkbox"/> 単位認定はしません （理由：既に卒業単位をほとんど満たしているため）
2) 留学先で履修した科目について	
履修した授業科目名①	
STRATEGIC MANAGEMENT	
科目設置学部	BBA
履修期間	2018年9月～12月
留学先の単位数	6 単位
帰国後の単位認定	<input type="checkbox"/> 単位認定 ※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input checked="" type="checkbox"/> 単位認定しません
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他（ ）
授業時間数	1回80分の授業が30回（週ごとに時間割が変わるため、あるときは週に4回、あるときは0回のあるときもある）
担当教授	JOSE MANUEL CANO GONZALEZ
授業内容	様々な変化や競合他社に対してどのように企業は意思決定を行い、対応するべきかという内容の授業。マーケティング、経済学、ファイナンスなど様々な知識を学べる授業。
試験・課題など	[試験] 中間試験と期末試験がそれぞれ1回ずつ。試験内容はどちらも選択式の問題のみで、記述式の問題は出題されなかった。試験はすべてのクラスで共通。 [課題] ケーススタディが全部で4回あり、その都度グループでレポートを一枚提出。 [グループワーク] 最後の授業で授業中に問題が発表され、その問題についてグループごとに話し合っ、プレゼンテーションという形で発表
感想を自由記入	ケーススタディを特にあたりファイナンス関連の話が多くあり大変だったが、マーケティングや経済学など幅広い知識を学ぶことができたので、非常に為になった。特にこの Jose という教授はスペインの企業でも働いていて、学術的な知識だけではなく、実践的な知識も教えてくれたのでとてもよかったです。さらに昔日本企業とも仕事をしたことがあるらしく、日本に対してとても好意的でした。もし Strategic Management を取りたいと思っているのであれば、ぜひこの教授のクラスを取ることをお勧めします。
履修した授業科目名②	
CONSUMER BEHAVIOR	
科目設置学部	BBA
履修期間	2018年9月～12月
留学先の単位数	3 単位
帰国後の単位認定	<input type="checkbox"/> 単位認定 ※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input checked="" type="checkbox"/> 単位認定しません
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他（ ）

授業時間数	1回80分の授業が15回（各週スケジュールが変わる）
担当教授	MARIA EIZAGUIRRE DIEGUEZ
授業内容	消費者行動論の授業で、消費者の購買活動を様々な観点から分析し、企業がどのようにターゲットを選定するのかについて学ぶ
試験・課題など	<p>[試験] 期末試験のみ。選択式の問題と、クリティカルシンキングという記述式の問題が出題された。ある企業のキャンペーンについて、どのような消費者をターゲットにしているのかなどについて分析するものだった。テスト前日に試験問題がリークされるという事件が起きたため、試験が当日すべて変更されたので、本来の試験形式はわからない。</p> <p>[グループワーク] グループごとに商品一つを選び、その商品についてマーケットリサーチを実際に行い、ターゲットは誰なのか、そのターゲットはどのような購買行動や意思決定を行うのかについて、レポートを提出し、授業最終日にプレゼンテーションとして発表。私のグループはアジア食品だったので、実際にフォーカスグループとして学生や職員などに実際に食べてもらうなどの定性調査や、オンラインのアンケートを作成し定量調査などを行った。</p>
感想を自由記入	先生の癖は少しありましたが、この先生もまた実際に企業で働いていて、マーケットリサーチやコンシューマー部門を担当しているので、非常に行動で実践的な知識を学ぶことができた。グループワークを通じて授業で学んだことのアウトプットがしっかり行えるため、非常に為になったし、正規学生とも仲良くなった。
履修した授業科目名③	
ADVERTISING AND CREATIVE STRATEGY	
科目設置学部	BBA
履修期間	2018年9月～12月
留学先の単位数	3単位
帰国後の単位認定	<input type="checkbox"/> 単位認定 ※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input checked="" type="checkbox"/> 単位認定しません
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他（ ）
授業時間数	1回80分の授業が15回（各週スケジュールが変わる）
担当教授	PETER THOMAS BOLAND
授業内容	企業の広告戦略や顧客とのコミュニケーションのメソッドについての授業
試験・課題など	<p>[試験] 期末試験のみ。バーガーキングのCMを見て、広告戦略について分析するとともに、配られたバーガーキングのケースを見て自分なりの広告キャンペーンを考えるという問題。</p> <p>[グループワーク] Happy Socks というスウェーデンの靴下メーカーの新たな広告キャンペーンをグループごとに考えレポートを提出し、授業最終日にプレゼンテーションとして発表。</p>
感想を自由記入	広告戦略についてなので面白い授業を期待していたが、授業はいたって普通で、基本的なフレームワークを学ぶ。ただ学んだフレームワークを使ってグループプロジェクトを進めていくので、そういった意味ではしっかりと授業で学んだ内容のインプット、アウトプットを行うことができた。自由履修科目なので比較的留学生が多かった。